

レクチャーコンサート

ザムエル・シャイト

—『カンツィオネス・サクレ』と『コンチェルトゥス・サクリ』—  
「ドイツオルガン音楽の父」の初期声楽作品をめぐって

〔科研費 18K00242 基盤研究 (C) 最終報告〕

2022年2月19日(土) 15:00~16:30

立教学院諸聖徒礼拝堂 (立教大学池袋キャンパス)



Samuel Scheidt  
(1587-1654)

ザムエル・シャイトは17世紀前半の中部ドイツにおいて作曲家、オルガニストです。ルター派の教会音楽や鍵盤音楽の発展に寄与したことから「ドイツオルガン音楽の父」とも呼ばれています。しかし鍵盤作品より遥かに多い声楽作品が現存していることは知られていません。今回は昨年8月の中間発表に続き『カンツィオネス・サクレ』(1620年)から2曲、また器楽を伴う大規模な作品『コンチェルトゥス・サクリ』(1622年)から3曲を取り上げます。国内でシャイトの声楽作品がまとまって演奏される機会は極めて少なく、特に今回は古楽器を伴う大編成の作品をお聴きいただける貴重な機会です。立教学院のチャペルに響くシャイトの初期声楽作品の輝かしい音楽、ぜひお聴きください。

レクチャーの部 ※配信のみ

「ドレスラー《わが慰めと助けはただ神のみ》と

シャイト《今日、五旬節の日が満ちた》について」(講師:大角欣矢)

「シャイトの複合唱作品の様式 —SSWV28, 29を例に」(講師:米沢陽子)

演奏の部

G.ドレスラー《わが慰めと助けはただ神のみ》

S.シャイト《心よりあなたを愛します、おお、主よ》SSWV28／《たとい私の心がくずおれても》SSWV29  
マグニフィカート第8旋法 SSWV81

《今日、五旬節の日が満ちた》SSWV75／《聖霊は彼らを全世界へと送り出した》SSWV76

サリクス・カンマーコア、古楽器オーケストラ

指揮:櫻井元希

一般非公開／収録の上、3月上旬配信予定

## サリクス・カンマーコア Salicus Kammerchor (主宰：櫻井元希)

東京藝術大学バッハカンタータクラブのメンバーを中心に、2015年に結成。中世、ルネサンス、バロック期までの宗教音楽作品、特にJ.S. バッハの作品を演奏することを目的とする。団体名のSalicusは、装飾を伴うとされる上昇の「ネウマ」の名称に由来する。「ネウマ」とは、10世紀頃のグレゴリオ聖歌の記譜法である。Salicus Kammerchorでは、この歌心の粋を集めた「ネウマ」を解釈し、その歌唱法をグレゴリオ聖歌のみならず、ポリフォニー、そしてJ.S. バッハの演奏にも生かしていく。いわゆる古楽的アプローチに甘んじることなく、むしろそれに対し常に疑問を投げかけながら、音楽の核心に迫る為に様々な角度からアプローチを試みる。特にJ.S. バッハの作品は、非常に広大なバックグラウンドを有し、ある一つの尺度では計れない多様性を持っている。そのためあらゆる可能性を排除せず様々な価値観を受け入れながら、先入観に囚われない柔軟な演奏解釈を目指す。

### 出演者

Soprano: 楠木綾 中須美喜 Alto: 金成佳枝 富本泰成 Tenor: 渡辺研一郎 金沢青児 Bass: 井上優 小藤洋平

Vn1: 遠藤結子 Vn2: 大光嘉理人 Va: 佐々木梨花 Violone: 角谷朋紀

Zink: 上野訓子 Alto Sackbut: 宮下宣子 Tenor Sackbut: 南紘平 Bass Sackbut: 石原左近 Org: 新妻由加

指揮: 櫻井元希

## 大角 欣矢 (研究分担者／東京芸術大学音楽学部楽理科教授)

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修士課程修了、同博士課程満期退学。音楽学を服部幸三、角倉一朗に師事。在学中、ドイツ、チュービンゲン大学文化学部音楽学専攻に留学。東京芸術大学音楽学部助手、鳴門教育大学学校教育学部助教授を経て、現在、東京芸術大学音楽学部教授。専門は西洋音楽史。特に16～18世紀ドイツの宗教音楽について重点的に研究を行う。著書に『憶えよ、汝死すべきを——死をめぐるドイツ・プロテスタントと音楽の歴史』(共著、日本基督教団出版局、2009年)。第24回「辻壮一・三浦アンナ記念学術奨励金」受賞(2012年)。

## 米沢 陽子(研究代表者／本学キリスト教学研究科特任教授)

東京芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程(バロックオルガン専攻)修了、博士号(音楽)を取得。主たる研究領域は16～18世紀ドイツの鍵盤音楽および教会音楽で、特にザムエル・シャイトの鍵盤作品と声楽作品を重点的に研究している。オルガンを木田みな子、石田一子、酒井多賀志、宮本とも子、鈴木雅明、廣野嗣雄の各氏に、音楽学を大角欣矢氏に師事。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として渡独、シュターデオルガンアカデミーにてマルティン・ベッカー氏に師事。日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会長、カトリック山手教会および目黒教会オルガニスト。東京芸術大学音楽学部古楽科教育研究助手、東京純心大学看護学部教授を経て、現在、本学キリスト教学研究科特任教授、教会音楽研究所所員。

お問い合わせ：キリスト教学研究科教育研究コーディネーター (担当 依田) TEL:03-3985-4779

配信準備が整い次第、大学HPにてご案内いたします

<https://www.rikkyo.ac.jp/news/#event>